

第 15 回

技術教育賞

本賞は、学校および社会教育における、
自動車技術に関する人材育成・教育の向上発展を
奨励することを目的として2009年に設置されました。
今回は2件に授与いたします。

賞の概要

対象となる者

- 自動車に関する研究開発、技術創造、ものづくりなどにおいて、学生・生徒ならびに若手技術者を指導、育成し、優れた活動・成果をあげた個人若しくはグループ
- 技術者育成・人材育成プログラムの創設や教材開発および普及に貢献し、その功績が顕著な個人若しくはグループ

対象となる活動

- 自動車に関する学生創造活動に対する指導・支援
- 本会、各種団体、企業における自動車技術者育成事業の運営・推進
- 自動車に関する教育出版物の執筆、制作
- 学会誌等への技術者教育関連記事の執筆
- 新しい教育システム、教育プログラムの創設や技術者育成教育の啓発活動
- その他自動車に関する人材育成・教育の向上発展に貢献していると認められる活動

技術教育賞

「自動車工学における先端技術と動向」に関する国際教育プログラムの企画と継続的实施

名古屋大学サマープログラム実施委員会 【名古屋大学】

受賞理由

受賞者は、2008年より国際教育サマー集中プログラム「自動車工学における先端技術と動向」を6月から7月の2か月にわたり開催している。本プログラムは海外大学からの学生と名古屋大学の学生を対象に、すべて英語で行われる国際行事であり、自動車に関する最先端の講義が、自動車業界と名古屋大学の第一線の研究者・開発者により協働で実施され、日本の最先端の自動車関連技術が伝えられる。

プログラムには企業・研究室見学、日本語学習、日本文化遺産見学も組み込まれており、国際交流・人材育成の総合的プログラムとして、独創性が高いものである。加えて、本プログラムの修了者には、自動車工学3単位、日本語コース3単位の単位が認定され、学生の修学意識向上に資するとともに、将来の自動車産業への就業意思向上や、日本文化の理解促進に寄与しており、欧米、アジア諸国から多数の応募があり、広く認知されている。特筆すべきは、2022年に本プログラム修了生による同窓会が創設され、人材交流が深まっていることであり、留学生の修了者の中には、日本の自動車メーカーや部品メーカーに就職し、活躍している者も出てきている。

これまで既に12回開催されてきた実績について、自動車産業界を支える人材の育成への功績を認めるものである。

技術教育賞

自動車開発における人間工学の基礎知識 / 方法 / 実践事例を示す講習会の企画・開催

ドライバ評価手法検討部門委員会 / ヒューマンファクタ部門委員会

受賞理由

受賞者は、人間工学の初学者や若手技術者のスキルアップを図るため、「自動車開発における人間工学の理論と実践_ドライバの特性を考えた車づくり」(以下、講習会)を、例年、企画・開催している。本講習会は、体系的に学ぶ機会の少ない人間工学について教育するものであり、企業や大学に所属する専門家から直接学ぶことのできる貴重な機会になっている。とりわけ、人間工学の基礎的な知識に加え、現場での具体的な実践方法をレクチャーすることで、自動車の人間工学的な設計/開発をするために必要な知識を習得して頂くことを企図しており、講師と直接やりとりできるインタラクティブセッションという企画では、会場内で複数の講師がポスター形式にて発表し、参加者が講師と直に議論や質疑を行えるというものであり、講師との議論を通じて理解を深めることに成功している。人間工学の素養を持つ技術者育成は「協調領域」であるとの理念から講習会を企画、10年で延べ751名の教育を行ってきた実績について、今後の自動車産業界を支える人材の育成への功績を認めるものである。